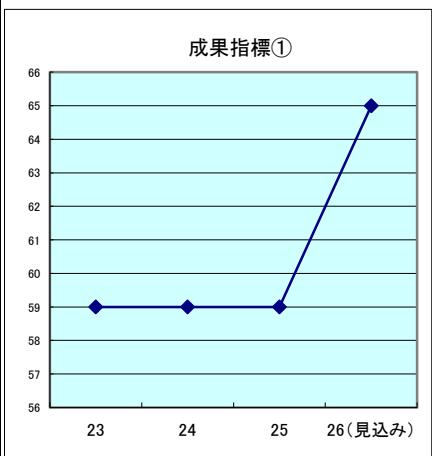
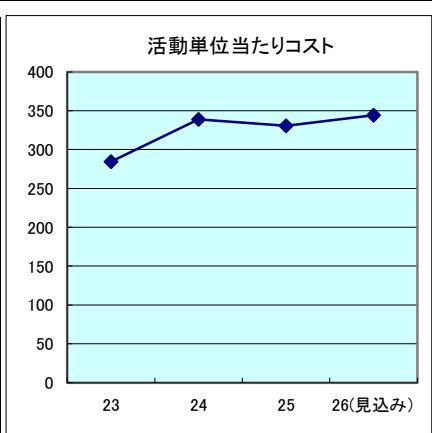


平成 26 年度 事務事業評価シート (平成 25 年度実施事業)

整理番号 総管04

事務事業名	公共施設循環バス運行事業			予算科目	会計 1 一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち		款 2 総務費
施策(節)	3	行財政運営	項 1 総務管理費		
施策の方向	(4)	効率的な施設運営	目 6 財産管理費		
関連する計画等					事業 2 車輌管理
事業の概要(目的・内容)	不特定多数の市民を公共施設へ送迎し、市民生活の利便の向上と福祉の充実を図る。市役所を起点に市内公共施設及び、各地区にある停留所を循環し、市民に無料で利用していただくサービスを提供する。				
根拠法令等					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 10年以上 <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 <input type="checkbox"/> 5年未満 (平成 年度開始)				
事業開始時からの状況変化	平成4年2コース・5年4月3コース・6年4月4コース・10年10月クリーンピア便・16年4月陵南の森送迎バスと統合・19年6月道の駅しらとりの郷便増便				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()				
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称()		委託内容		
民間委託		<input type="checkbox"/> その他			

区分		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		7,367	14,256	14,013	15,136
人件費【2】 (千円)		27,030	26,985	26,295	26,518
職員数	正規職員	0.55 人	0.65 人	0.55 人	0.50 人
	再任用職員	0.70 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	9.00 人	9.00 人	9.00 人	9.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考) (時間)		0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【1】+【2】 【A】 (千円)		34,397	41,241	40,308	41,654
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0
	府支出金 (千円)	0	0	0	0
	市債 (千円)	0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等) (千円)	0	0	0	0
	一般財源 【B】 (千円)	34,397	41,241	40,308	41,654
活動指標 (事業の活動実績) 【C】 単位		23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 年間総乗客数 人		120,943	121,718	121,943	121,000
② 1日の運行便 便		34	34	34	34
活動単位当たりコスト ([A]÷[C]①)		284 円	339 円	331 円	344 円
活動単位当たり一般財源額 ([B]÷[C]①)		284 円	339 円	331 円	344 円
市民1人当たりコスト ([A]÷人口)		292 円	352 円	346 円	361 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			19.9 %	▲ 2.3 %	3.3 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)					
※該当項目すべてに✓					
<input type="checkbox"/> 1. 制度改正・事業の見直しなど <input type="checkbox"/> 3. 物価・賃金水準などの変動 <input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(平成24・25年度にマイクロバスを新規購入したため。また、26年度も同様の費用が計上されているため。)					



成績を達成する指標	指標名		単位	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	①	年間平均乗車率 (式又は 乗客数÷座席数 (204,152席) × 100 説明) 0		目標	65	実績	65	達成率(%)	65	実績	達成率(%)
	②	(式又は 説明)	目標			59	59	90.8%	59		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1 法令上の義務	2 受益者が不特定多数	3 最低限の生活水準を確保	4 市民の不安を解消	5 社会的経済的弱者を対象	6 民間だけでは負担しきれない	7 民間だけでは供給不足	8 市の特色等を市内外へ発信	9 第三者にも受益がある	
	○		○	○						有

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☑	□	□	午前便は常に乗車定員に近い利用があり、市民ニーズが高い事業である。また、近隣他市との比較では非常に充実した内容である。
	市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☑	□	□	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☑	□	□	
	事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☑	□	□	
効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☑	□	□	バスの台数及びルート数からは、最小限の人員で行っている。また、運転手は嘱託職員を採用し、人件費の抑制を図っている。
	使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	□	□	☑	
	人員を削減する余地がない	☑	□	□	
	事業費を削減する余地がない	☑	□	□	
	国・府の事業や市の他事業と重複していない	☑	□	□	
	市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☑	□	□	
	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	□	☑	□	
協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	□	□	☑	利用しやすさ等、可能な限り利用者の意見を反映している。
有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	□	☑	□	利用者数は若干であるが、増加している
達成度	成果指標は前年度より向上している	☑	□	□	利用者数は若干であるが、増加している

担当部局評価	総合評価			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
	(概ね現行どおり継続して実施)	(実施方法の改善を検討する)	(事業規模の縮小を検討する)	(廃止・休止を検討する)
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)			
現在の利用者の多くは公共施設循環バスとしての認識でなく、日常の公共交通機関として利用されている。そのような背景を踏まえ、今後は現行のサービスを維持するため、収入確保等を図ることにより経費の抑制に努め効率的な運行を目指す。また、成果指標を達成するためダイヤ改正等、利用しやすさの改善を図ります。				

行革本部評価	総合評価		評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	
	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	